



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年7月29日

上場会社名 株式会社コア 上場取引所 東
 コード番号 2359 URL <http://www.core.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 松浪 正信
 取締役専務執行役員
 問合せ先責任者 (役職名) 最高財務責任者 (氏名) 市川 卓 TEL 03-3795-5111
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	4,316	0.1	143	3.4	151	△13.0	102	△13.0
2019年3月期第1四半期	4,313	△7.7	138	△31.5	174	△20.0	117	△7.1

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 101百万円 (△9.4%) 2019年3月期第1四半期 112百万円 (△16.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	7.23	7.22
2019年3月期第1四半期	8.26	8.26

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	16,917	10,028	59.2
2019年3月期	17,318	10,210	58.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 10,015百万円 2019年3月期 10,191百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	5.00	—	20.00	25.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	27.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2019年3月期第2四半期末配当金の内訳 コアグループ結成45周年記念配当金 5円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	9,700	4.7	600	18.8	600	8.5	400	5.8	28.32
通期	22,000	7.5	1,800	11.3	1,800	7.3	1,270	1.8	89.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2020年3月期1Q	14,834,580株	2019年3月期	14,834,580株
2020年3月期1Q	709,760株	2019年3月期	709,663株
2020年3月期1Q	14,124,902株	2019年3月期1Q	14,207,966株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益が良好な水準を維持していることや雇用・所得環境の改善により緩やかな回復基調が続いております。一方、世界経済は米中の貿易摩擦や中東情勢の緊張の高まり等により先行き不透明な状況にあり、今後の景気減速が懸念されます。

情報サービス産業は、社会的に深刻化する人手不足を背景に、企業による合理化・省力化に向けた情報化投資が続いており、特にAI（人工知能）・IoT（Internet of Things）等の先進分野に対する需要が活発であることから堅調に推移しました。

このような状況の下、当社グループは、成長の原動力として「コアビジネス（※）」という事業領域を設定し、受託型のSIビジネスから提案型のソリューションビジネスへビジネスモデルを転換するとともに、「コアビジネス」自体の規模を拡大させることで、ソリューションメーカーとしての特長を最大限生かすビジネスを推進してまいりました。

全国に展開したカンパニー制を採る地域密着型の事業基盤により、拠点各々の業容や強み、地域性を活かした事業の「深掘り」をすることで規模拡大と生産性向上に努め、「コアビジネス」で培われた業務ノウハウと先端技術を用いた自社製品による競争力あるソリューションを全国に「横ぐし」で提供することで、顧客満足度を高めるサービス展開を図ってまいりました。

この結果、車載関連で一部売上の減少が見られたものの、好調な社会基盤や金融分野で売上が増加し、当第1四半期連結累計期間における売上高は4,316百万円（前年同四半期比0.1%増）、営業利益は143百万円（同3.4%増）、経常利益は151百万円（同13.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は102百万円（同13.0%減）となりました。

（※）コアビジネス

同じ事業、マーケット、サービスを当社グループ各拠点が「横ぐし」で連携することでスケールメリットを活かすとともに、スピードある変化を取り込むことでグループ全体の成長を目指す事業として、メディア、公共、医療、GNSS、IoT（AI）の5つを定義しております。

セグメント別の事業の状況は次のとおりであります。

[セグメント情報に関する定性的情報等]

	売上高							
	S I ビジネス		ソリューション ビジネス		その他		計	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	2,742	△1.7	1,552	3.4	22	5.8	4,316	0.1
2019年3月期第1四半期	2,790	△5.1	1,501	△12.4	20	1.7	4,313	△7.7
(参考) 2019年3月期	12,403		7,992		68		20,464	

	営業利益							
	S I ビジネス		ソリューション ビジネス		その他		計	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	36	△0.6	95	3.4	11	18.2	143	3.4
2019年3月期第1四半期	37	177.2	92	△48.6	9	△3.7	138	△31.5
(参考) 2019年3月期	428		1,173		15		1,616	

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、売電事業及び農業事業であります。

2 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

3 パーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

< S I ビジネス >

情報家電やWebサイト構築の受託開発が好調に推移しましたが、スマートフォンや車載関連の組込み系受託開発の縮小、受託型から提案型へのビジネスモデル転換の進捗により売上が減少となり、売上高は2,742百万円（前年同四半期比1.7%減）、営業利益は36百万円（同0.6%減）となりました。

< ソリューションビジネス >

社会基盤分野や金融分野における提案型ビジネスでの受注拡大により売上が増加し、売上高は1,552百万円（前年同四半期比3.4%増）となりました。利益面では、下期偏重となっていた公共分野での案件が早期に立ち上がったことにより営業利益は95百万円（同3.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ521百万円減少し、8,079百万円となりました。これは、現金及び預金が296百万円、仕掛品が374百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が1,077百万円減少したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ119百万円増加し、8,837百万円となりました。これは、投資その他の資産に含まれる繰延税金資産が114百万円増加したことなどによるものです。

この結果、総資産は401百万円減少し、16,917百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ81百万円減少し、5,160百万円となりました。これは、賞与引当金が361百万円、その他に含まれる前受金が284百万円増加しましたが、短期借入金が649百万円減少したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ139百万円減少し、1,727百万円となりました。これは、長期借入金が124百万円減少したことなどによるものです。

この結果、負債合計は220百万円減少し、6,888百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ181百万円減少し、10,028百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益が102百万円となりましたが、配当金の支払282百万円があったことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年4月25日に公表しました第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

なお、業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,633,915	2,930,115
受取手形及び売掛金	4,588,496	3,510,613
有価証券	100,000	100,000
商品及び製品	132,938	164,804
仕掛品	457,783	832,073
原材料及び貯蔵品	40,505	51,607
その他	646,976	489,991
流動資産合計	8,600,617	8,079,206
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,617,754	1,594,953
土地	3,705,566	3,705,566
その他(純額)	441,891	439,008
有形固定資産合計	5,765,212	5,739,528
無形固定資産		
のれん	117,010	106,040
その他	255,750	242,369
無形固定資産合計	372,760	348,409
投資その他の資産	2,580,345	2,749,892
固定資産合計	8,718,318	8,837,830
資産合計	17,318,935	16,917,037
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,324,983	1,230,632
短期借入金	1,955,389	1,305,451
未払法人税等	136,146	187,581
賞与引当金	730,065	1,091,193
受注損失引当金	55,940	64,062
製品保証引当金	3,028	2,379
その他	1,036,487	1,279,539
流動負債合計	5,242,041	5,160,839
固定負債		
長期借入金	1,237,540	1,113,072
リース債務	241,952	238,624
繰延税金負債	82,377	65,660
役員退職慰労引当金	181,689	181,689
退職給付に係る負債	24,551	24,634
資産除去債務	24,791	25,192
その他	73,943	78,818
固定負債合計	1,866,845	1,727,690
負債合計	7,108,887	6,888,529

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	440,200	440,200
資本剰余金	152,382	152,382
利益剰余金	10,105,719	9,925,367
自己株式	△753,379	△753,519
株主資本合計	9,944,923	9,764,430
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	240,335	243,950
為替換算調整勘定	6,725	6,871
その他の包括利益累計額合計	247,061	250,821
新株予約権	17,134	17,134
非支配株主持分	929	△3,879
純資産合計	10,210,047	10,028,507
負債純資産合計	17,318,935	16,917,037

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	4,313,085	4,316,833
売上原価	3,378,442	3,362,562
売上総利益	934,643	954,270
販売費及び一般管理費	795,858	810,834
営業利益	138,784	143,436
営業外収益		
受取利息	3,758	5,686
受取配当金	24,866	13,493
受取賃貸料	6,802	3,358
持分法による投資利益	1,423	—
保険解約返戻金	4,277	1,141
その他	1,796	1,421
営業外収益合計	42,925	25,101
営業外費用		
支払利息	4,350	4,151
賃貸収入原価	2,097	1,244
持分法による投資損失	—	7,564
その他	498	3,616
営業外費用合計	6,946	16,576
経常利益	174,763	151,961
税金等調整前四半期純利益	174,763	151,961
法人税、住民税及び事業税	185,970	187,325
法人税等調整額	△126,944	△133,005
法人税等合計	59,025	54,320
四半期純利益	115,737	97,641
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,685	△4,504
親会社株主に帰属する四半期純利益	117,422	102,145

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	115,737	97,641
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,542	2,744
為替換算調整勘定	△259	174
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,898	898
その他の包括利益合計	△3,701	3,818
四半期包括利益	112,036	101,459
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	113,981	105,906
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,944	△4,447

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結会計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	SIビジネス	ソリューション ビジネス	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,790,317	1,501,935	4,292,253	20,832	—	4,313,085
セグメント間の内部売上高又は振替高	492	19,667	20,160	3,570	△23,730	—
計	2,790,810	1,521,602	4,312,413	24,403	△23,730	4,313,085
セグメント利益	37,130	92,208	129,339	9,445	—	138,784

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、売電事業及び農業事業であります。

2 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、セグメント利益の算定上合理的な配賦基準により各報告セグメントへ配賦しております。

3 調整額は、セグメント間取引消去であります。

4 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 3	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 4
	SIビジネス	ソリューション ビジネス	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,742,126	1,552,672	4,294,798	22,034	—	4,316,833
セグメント間の内部売上高又は振替高	242	28,190	28,433	3,885	△32,319	—
計	2,742,369	1,580,862	4,323,232	25,920	△32,319	4,316,833
セグメント利益	36,908	95,364	132,273	11,162	—	143,436

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、売電事業及び農業事業であります。

2 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、セグメント利益の算定上合理的な配賦基準により各報告セグメントへ配賦しております。

3 調整額は、セグメント間取引消去であります。

4 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。